

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	1. 先進国セレクト債券マザーファンドの受益証券 2. 新興国セレクト債券マザーファンドの受益証券
	先進国セレクト債券マザーファンド	先進国通貨建ての債券
	新興国セレクト債券マザーファンド	新興国通貨建ての債券
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、外貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p>イ. 先進国通貨建ての資産と新興国通貨建ての資産への投資割合をおおむね6対4とします。</p> <p>ロ. 投資対象通貨および基本通貨配分は、各通貨建ての債券の金利水準、信用力、市場規模、流動性等を勘案して決定します。 ※投資対象通貨および基本通貨配分は、投資環境等が著しく変化した場合に変更することがあります。</p> <p>ハ. 基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して、実際の運用における通貨別投資比率を決定します。</p> <p>ニ. 投資対象とする債券は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証するものとします。</p> <p>③マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④マザーファンドの受益証券の組入比率の合計は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	先進国セレクト債券マザーファンドの株式組入上限比率 新興国セレクト債券マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

世界セレクト債券ファンド (毎月決算型)

運用報告書(全体版)

第77期	(決算日	2016年2月22日)
第78期	(決算日	2016年3月22日)
第79期	(決算日	2016年4月20日)
第80期	(決算日	2016年5月20日)
第81期	(決算日	2016年6月20日)
第82期	(決算日	2016年7月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界セレクト債券ファンド（毎月決算型）」は、このたび、第82期の決算を行ないました。

ここに、第77期～第82期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド(円換算)		公 社 債 入 率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率		
53期末(2014年2月20日)	9,033	60	△ 1.5	13,058	△ 0.3	14,000	△ 2.6	93.1	百万円 240
54期末(2014年3月20日)	9,022	60	0.5	13,086	0.2	14,240	1.7	97.4	234
55期末(2014年4月21日)	9,386	60	4.7	13,272	1.4	14,725	3.4	97.0	239
56期末(2014年5月20日)	9,417	60	1.0	13,205	△ 0.5	14,875	1.0	97.0	238
57期末(2014年6月20日)	9,432	60	0.8	13,304	0.8	15,000	0.8	96.9	234
58期末(2014年7月22日)	9,452	60	0.8	13,326	0.2	15,081	0.5	96.8	232
59期末(2014年8月20日)	9,434	60	0.4	13,518	1.4	15,144	0.4	97.5	228
60期末(2014年9月22日)	9,576	60	2.1	14,028	3.8	15,581	2.9	97.4	218
61期末(2014年10月20日)	9,328	60	△ 2.0	13,834	△ 1.4	15,197	△ 2.5	95.3	209
62期末(2014年11月20日)	10,061	60	8.5	15,106	9.2	16,493	8.5	93.1	218
63期末(2014年12月22日)	9,867	60	△ 1.3	15,346	1.6	15,774	△ 4.4	94.2	211
64期末(2015年1月20日)	9,814	60	0.1	15,021	△ 2.1	15,609	△ 1.0	94.5	210
65期末(2015年2月20日)	9,499	60	△ 2.6	14,979	△ 0.3	15,583	△ 0.2	96.1	203
66期末(2015年3月20日)	9,128	60	△ 3.3	14,913	△ 0.4	15,034	△ 3.5	96.2	190
67期末(2015年4月20日)	9,172	60	1.1	14,867	△ 0.3	15,321	1.9	95.7	191
68期末(2015年5月20日)	9,277	60	1.8	14,940	0.5	15,687	2.4	96.1	189
69期末(2015年6月22日)	9,219	60	0.0	15,198	1.7	15,456	△ 1.5	96.9	182
70期末(2015年7月21日)	9,052	60	△ 1.2	15,108	△ 0.6	15,443	△ 0.1	97.8	171
71期末(2015年8月20日)	8,692	60	△ 3.3	15,380	1.8	14,530	△ 5.9	97.8	161
72期末(2015年9月24日)	7,800	60	△ 9.6	14,922	△ 3.0	13,427	△ 7.6	96.5	143
73期末(2015年10月20日)	8,077	60	△ 4.3	15,014	0.6	14,148	5.4	96.6	146
74期末(2015年11月20日)	8,219	60	2.5	15,030	0.1	14,325	1.3	96.7	148
75期末(2015年12月21日)	7,761	60	△ 4.8	14,895	△ 0.9	13,644	△ 4.8	96.8	137
76期末(2016年1月20日)	7,223	60	△ 6.2	14,459	△ 2.9	12,802	△ 6.2	93.6	125
77期末(2016年2月22日)	7,173	60	0.1	14,216	△ 1.7	12,831	0.2	89.0	115
78期末(2016年3月22日)	7,326	60	3.0	14,211	△ 0.0	13,655	6.4	93.5	117
79期末(2016年4月20日)	7,313	60	0.6	14,064	△ 1.0	13,839	1.3	97.9	112
80期末(2016年5月20日)	6,907	60	△ 4.7	13,996	△ 0.5	13,243	△ 4.3	96.8	106
81期末(2016年6月20日)	6,697	60	△ 2.2	13,484	△ 3.7	12,927	△ 2.4	96.1	102
82期末(2016年7月20日)	6,722	60	1.3	13,725	1.8	13,532	4.7	95.6	103

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) JPモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド(円換算)は、JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

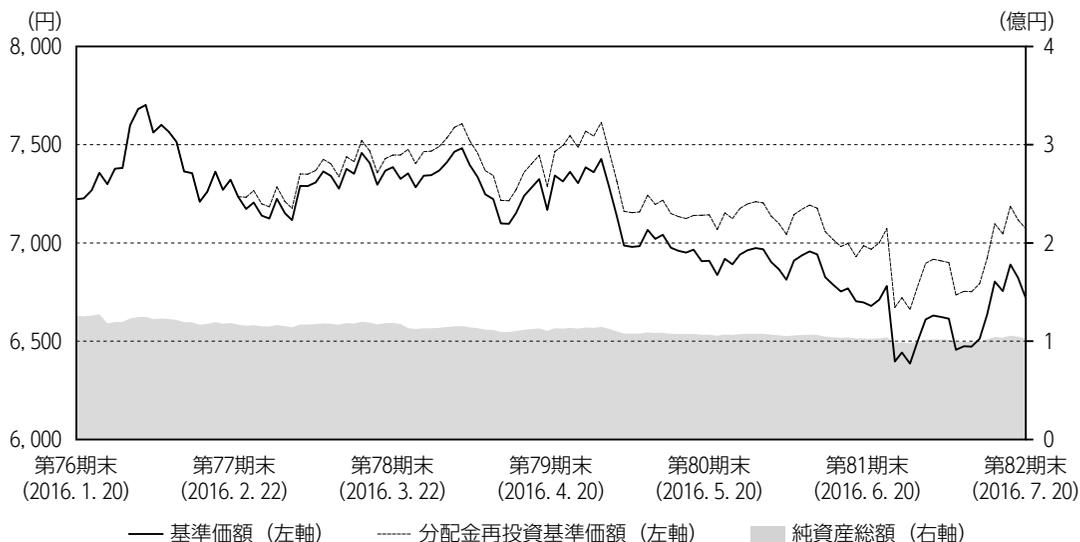
(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第77期首：7,223円

第82期末：6,722円（既払分配金360円）

騰落率：△2.1%（分配金再投資ベース）

■組入ファンドの当作成期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
先進国セレクト債券マザーファンド	△2.6%
新興国セレクト債券マザーファンド	0.5%

■基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入や債券価格の上昇がプラス要因となりましたが、投資している通貨が円に対しておおむね下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界セレクト債券ファンド（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 組 債 比 入 率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第77期	(期首) 2016年1月20日	7,223	—	14,459	—	12,802	—	93.6
	1月末	7,599	5.2	14,713	1.8	13,413	4.8	95.7
	(期末) 2016年2月22日	7,233	0.1	14,216	△ 1.7	12,831	0.2	89.0
第78期	(期首) 2016年2月22日	7,173	—	14,216	—	12,831	—	89.0
	2月末	7,151	△ 0.3	14,250	0.2	12,893	0.5	95.1
	(期末) 2016年3月22日	7,386	3.0	14,211	△ 0.0	13,655	6.4	93.5
第79期	(期首) 2016年3月22日	7,326	—	14,211	—	13,655	—	93.5
	3月末	7,465	1.9	14,457	1.7	13,906	1.8	97.2
	(期末) 2016年4月20日	7,373	0.6	14,064	△ 1.0	13,839	1.3	97.9
第80期	(期首) 2016年4月20日	7,313	—	14,064	—	13,839	—	97.9
	4月末	7,290	△ 0.3	14,193	0.9	13,761	△ 0.6	97.7
	(期末) 2016年5月20日	6,967	△ 4.7	13,996	△ 0.5	13,243	△ 4.3	96.8
第81期	(期首) 2016年5月20日	6,907	—	13,996	—	13,243	—	96.8
	5月末	6,974	1.0	14,147	1.1	13,367	0.9	96.6
	(期末) 2016年6月20日	6,757	△ 2.2	13,484	△ 3.7	12,927	△ 2.4	96.1
第82期	(期首) 2016年6月20日	6,697	—	13,484	—	12,927	—	96.1
	6月末	6,611	△ 1.3	13,309	△ 1.3	13,073	1.1	95.9
	(期末) 2016年7月20日	6,782	1.3	13,725	1.8	13,532	4.7	95.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○海外債券市況

・先進国

先進国債券市況は、当作成期間を通しておおむね金利は低下しました。第77期首より、日銀が予想外のマイナス金利を導入したことから、金利は低下しました。2016年2月中旬からは、原油価格の動向や米国の利上げ観測の推移に影響され、金利は上下に動きました。6月初旬に市場予想を大幅に下回る米国の雇用者数の伸びが発表されると、米国の早期利上げ観測は後退し、金利低下圧力が強まりました。また、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票で予想外にEU離脱派が勝利し市場のリスク回避姿勢が強まったことも、金利低下の材料となりました。

・新興国

新興国債券市況は、当期間を通してみるとおおむね金利低下となりました。米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方に加え、中国経済に対する懸念の後退や商品価格の反発、世界的な株式市況の上昇から投資家心理が改善する中で、多くの新興国債券が買われる展開となりました。

○為替相場

・先進国

先進国為替相場は、当期間を通しておおむね下落（円高）しました。第77期首より2016年3月にかけては、日銀が予想外のマイナス金利を導入したことで円が乱高下したほか、原油価格が底打ちの様相となって豪ドルやカナダ・ドルといった資源国通貨が買い戻されました。4月以降は、日銀の主要な金融政策において追加緩和が見送られたことや米国の早期利上げ観測の後退などから、円高傾向での推移となりました。また、英国のEU離脱への懸念から市場のリスク回避姿勢が強まったことも、円高の材料となりました。しかし、7月の参議院選挙での与党の勝利を受けて経済対策への期待が高まる中で、円安が進みました。

・新興国

新興国為替相場は、当期間を通してみるとおおむね対円で下落となりました。米国の利上げ懸念や中国経済に対する懸念が後退する中で新興国通貨は買われる動きがあったものの、日銀の金融政策をめぐる思惑等によって円高が進展したことから、投資対象通貨は南アフリカ・ランドを除き、対円でおおむね下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

先進国セレクト債券マザーファンドおよび新興国セレクト債券マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

次期作成期間のマザーファンドの組入比率については、標準組入比率（先進国セレクト債券マザーファンド：60%、新興国セレクト債券マザーファンド：40%）に合わせることを基本とします。

マザーファンドの組入比率の合計は90%程度以上を維持する方針です。

○先進国セレクト債券マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

○新興国セレクト債券マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

先進国セレクト債券マザーファンドおよび新興国セレクト債券マザーファンドの受益証券に投資しました。各組入比率については、当期間中の標準組入比率（先進国セレクト債券マザーファンド：60%、新興国セレクト債券マザーファンド：40%）に合わせることをめざしました。

○先進国セレクト債券マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル16.67%、カナダ・ドル16.67%、英ポンド16.67%）に基づき、各国の金利動向、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±16.67%程度の範囲内で変動させました。

当期間の債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

○新興国セレクト債券マザーファンド

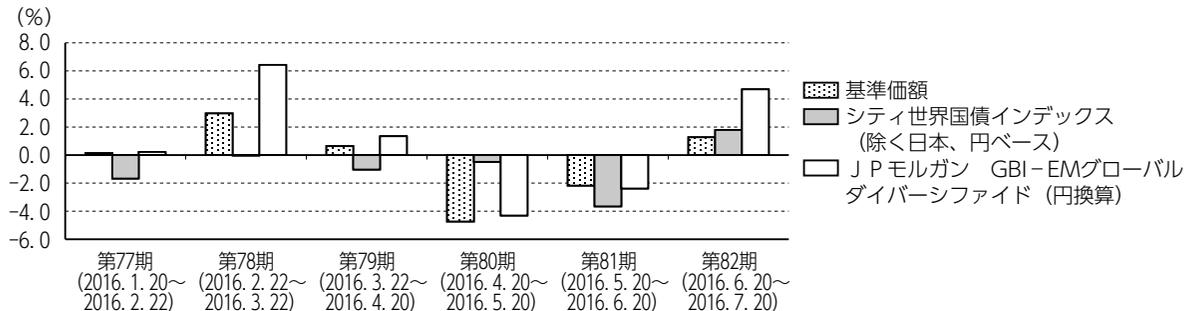
主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、ファンドの特色に定めておりますように、各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で通貨を選定します。期中に信用力を考慮し、投資対象通貨および基本通貨配分の一部変更を行ないました。新たな基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±25%程度の範囲内で変動させました。

当期間の債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債にて運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第77期から第82期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ60円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2016年1月21日 ～2016年2月22日	2016年2月23日 ～2016年3月22日	2016年3月23日 ～2016年4月20日	2016年4月21日 ～2016年5月20日	2016年5月21日 ～2016年6月20日	2016年6月21日 ～2016年7月20日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（%）	0.83	0.81	0.81	0.86	0.89	0.88
当期の収益（円）	33	30	29	25	25	28
当期の収益以外（円）	26	29	30	34	34	31
翌期繰越分配対象額（円）	721	692	661	627	593	561

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
(a) 経費控除後の配当等収益	33.38円	30.49円	29.57円	25.91円	25.46円	28.77円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	18.28	18.81	19.20	19.58	19.96	20.33
(d) 分配準備積立金	729.93	702.78	672.89	642.09	607.63	572.72
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	781.59	752.09	721.67	687.58	653.05	621.83
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	721.59	692.09	661.67	627.58	593.05	561.83

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

先進国セレクト債券マザーファンドおよび新興国セレクト債券マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

マザーファンドの組入比率については、標準組入比率（先進国セレクト債券マザーファンド：60%、新興国セレクト債券マザーファンド：40%）に合わせることを基本とします。

マザーファンドの組入比率の合計は90%程度以上を維持する方針です。

○先進国セレクト債券マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の政策金利の見通しや金融市場の動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

○新興国セレクト債券マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第77期～第82期		項 目 の 概 要
	(2016. 1. 21～2016. 7. 20)		
	金 額	比 率	
信託報酬	50円	0.700%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,098円です。
(投信会社)	(21)	(0.302)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(27)	(0.377)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	21	0.296	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(19)	(0.273)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.020)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	71	0.996	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年1月21日から2016年7月20日まで)

決算期	第77期～第82期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
先進国セレクト債券 マザーファンド	65	100	8,160	12,200
新興国セレクト債券 マザーファンド	—	—	8,730	9,500

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第77期～第82期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表 親投資信託残高

種類	第76期末	第82期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
先進国セレクト債券 マザーファンド	50,914	42,820	61,597
新興国セレクト債券 マザーファンド	47,078	38,348	41,067

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年7月20日現在

項目	第82期末	
	評価額	比率
	千円	%
先進国セレクト債券マザーファンド	61,597	59.1
新興国セレクト債券マザーファンド	41,067	39.4
コール・ローン等、その他	1,513	1.5
投資信託財産総額	104,177	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=106.03円、1カナダ・ドル=81.38円、1オーストラリア・ドル=79.51円、1イギリス・ポンド=138.85円、1トルコ・リラ=34.80円、1メキシコ・ペソ=5.71円、1南アフリカ・ランド=7.39円です。

(注3) 先進国セレクト債券マザーファンドにおいて、第82期末における外貨建純資産(61,316千円)の投資信託財産総額(61,608千円)に対する比率は、99.5%です。
新興国セレクト債券マザーファンドにおいて、第82期末における外貨建純資産(39,053千円)の投資信託財産総額(43,427千円)に対する比率は、89.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年2月22日)、(2016年3月22日)、(2016年4月20日)、(2016年5月20日)、(2016年6月20日)、(2016年7月20日)現在

項目	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末
(A) 資産	117,387,522円	118,754,105円	113,874,964円	107,671,871円	103,742,277円	104,177,424円
コール・ローン等	1,441,297	1,366,793	1,231,715	1,345,289	1,493,281	1,513,158
先進国セレクト債券 マザーファンド(評価額)	69,103,153	70,323,805	66,838,895	63,981,275	61,353,059	61,597,135
新興国セレクト債券 マザーファンド(評価額)	46,443,072	47,063,507	45,804,354	42,345,307	40,895,937	41,067,131
未収入金	400,000	—	—	—	—	—
(B) 負債	1,528,386	1,095,778	1,053,786	1,056,522	1,050,011	1,042,186
未払収益分配金	969,060	963,636	925,627	926,161	920,001	920,594
未払解約金	404,998	—	—	—	—	—
未払信託報酬	153,459	130,535	125,836	127,319	126,260	117,181
その他未払費用	869	1,607	2,323	3,042	3,750	4,411
(C) 純資産総額(A-B)	115,859,136	117,658,327	112,821,178	106,615,349	102,692,266	103,135,238
元本	161,510,116	160,606,085	154,271,243	154,360,180	153,333,593	153,432,355
次期繰越損益金	△ 45,650,980	△ 42,947,758	△ 41,450,065	△ 47,744,831	△ 50,641,327	△ 50,297,117
(D) 受益権総口数	161,510,116□	160,606,085□	154,271,243□	154,360,180□	153,333,593□	153,432,355□
1万口当り基準価額(C/D)	7,173円	7,326円	7,313円	6,907円	6,697円	6,722円

*第76期末における元本額は174,045,501円、当作成期間（第77期～第82期）中における追加設定元本額は611,736円、同解約元本額は21,224,882円です。

*第82期末の計算口数当りの純資産額は6,722円です。

*第82期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は50,297,117円です。

世界セレクト債券ファンド（毎月決算型）

■損益の状況

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
(A) 配当等収益	2円	—円	1円	—円	2円	—円
受取利息	2	—	—	—	—	—
支払利息	—	—	1	2	6	2
(B) 有価証券売買損益	325,234	3,542,599	855,846	5,216,667	2,167,050	1,415,270
売買益	779,072	3,550,307	940,756	—	10,021	1,415,270
売買損	△ 453,838	△ 7,708	△ 84,910	△ 5,216,667	△ 2,177,071	—
(C) 信託報酬等	△ 154,328	△ 131,273	△ 126,552	△ 128,038	△ 126,969	△ 117,842
(D) 当期損益金 (A+B+C)	170,908	3,411,326	729,293	5,344,707	2,294,025	1,297,426
(E) 前期繰越損益金	△ 38,249,727	△ 38,800,130	△ 34,898,626	△ 35,094,960	△ 41,065,465	△ 44,279,491
(F) 追加信託差損益金	△ 6,603,101	△ 6,595,318	△ 6,355,105	△ 6,379,003	△ 6,361,836	△ 6,394,458
(配当等相当額)	(295,273)	(302,178)	(296,282)	(302,250)	(306,086)	(312,045)
(売買損益相当額)	(△ 6,898,374)	(△ 6,897,496)	(△ 6,651,387)	(△ 6,681,253)	(△ 6,667,922)	(△ 6,706,503)
(G) 合計 (D+E+F)	△ 44,681,920	△ 41,984,122	△ 40,524,438	△ 46,818,670	△ 49,721,326	△ 49,376,523
(H) 収益分配金	△ 969,060	△ 963,636	△ 925,627	△ 926,161	△ 920,001	△ 920,594
次期繰越損益金 (G+H)	△ 45,650,980	△ 42,947,758	△ 41,450,065	△ 47,744,831	△ 50,641,327	△ 50,297,117
追加信託差損益金	△ 6,603,101	△ 6,595,318	△ 6,355,105	△ 6,379,003	△ 6,361,836	△ 6,394,458
(配当等相当額)	(295,273)	(302,178)	(296,282)	(302,250)	(306,086)	(312,045)
(売買損益相当額)	(△ 6,898,374)	(△ 6,897,496)	(△ 6,651,387)	(△ 6,681,253)	(△ 6,667,922)	(△ 6,706,503)
分配準備積立金	11,359,280	10,813,293	9,911,420	9,385,220	8,787,462	8,308,316
繰越損益金	△ 50,407,159	△ 47,165,733	△ 45,006,380	△ 50,751,048	△ 53,066,953	△ 52,210,975

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の一部を委託するために要する費用：64,256円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
(a) 経費控除後の配当等収益	539,174円	489,720円	456,202円	399,961円	390,390円	441,448円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	295,273	302,178	296,282	302,250	306,086	312,045
(d) 分配準備積立金	11,789,166	11,287,209	10,380,845	9,911,420	9,317,073	8,787,462
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	12,623,613	12,079,107	11,133,329	10,613,631	10,013,549	9,540,955
(f) 分配金	969,060	963,636	925,627	926,161	920,001	920,594
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	11,654,553	11,115,471	10,207,702	9,687,470	9,093,548	8,620,361
(h) 受益権総口数	161,510,116口	160,606,085口	154,271,243口	154,360,180口	153,333,593口	153,432,355口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円
(単 価)	(7, 173円)	(7, 326円)	(7, 313円)	(6, 907円)	(6, 697円)	(6, 722円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

先進国セレクト債券マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2016年7月20日)

(計算期間 2016年1月21日～2016年7月20日)

先進国セレクト債券マザーファンドの第14期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	先進国通貨建ての債券
運 用 方 法	<p>①主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 投資対象通貨および基本通貨配分は、各通貨建ての債券の金利水準、信用力、市場規模、流動性等を勘案して決定します。 ※投資対象通貨および基本通貨配分は、投資環境等が著しく変化した場合に変更することがあります。</p> <p style="margin-left: 20px;">ロ. 基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して、実際の運用における通貨別投資比率を決定します。</p> <p style="margin-left: 20px;">ハ. 投資対象とする債券は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証するものとします。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10% 以下

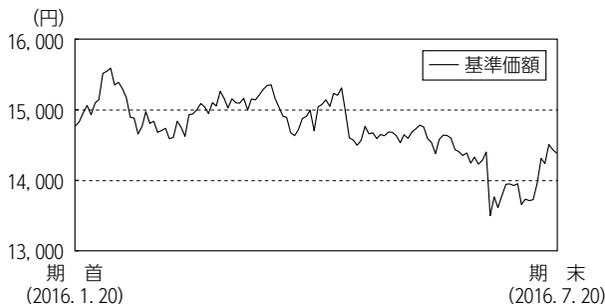
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) (参考指数)		公社債 組入 比率
	円	騰落率 %	騰落率	%	
(期首)2016年1月20日	14,768	—	14,459	—	97.0
1月末	15,514	5.1	14,713	1.8	97.8
2月末	14,753	△ 0.1	14,250	△ 1.4	98.1
3月末	15,344	3.9	14,457	△ 0.0	98.6
4月末	14,977	1.4	14,193	△ 1.8	98.3
5月末	14,781	0.1	14,147	△ 2.2	97.2
6月末	13,943	△ 5.6	13,309	△ 8.0	98.6
(期末)2016年7月20日	14,385	△ 2.6	13,725	△ 5.1	98.4

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債(転換社債)および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：14,768円 期末：14,385円 騰落率：△2.6%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入や債券価格の上昇がプラス要因となりましたが、投資している通貨が円に対しておおむね下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○先進国債券市況

先進国債券市況は、期を通しておおむね金利は低下しました。期首より、日銀が予想外のマイナス金利を導入したことから、金利は低下しました。2016年2月中旬からは、原油価格の動向や米国の利上げ観測の推移に影響され、金利は上下に動きました。6月初旬に市場予想を大幅に下回る米国の雇用者数の伸びが発表されると、米国の早期利上げ観測は後退し、金利低下圧力が強まりました。また、英国のEU(欧州連合)離脱を問う国民投票で予想外にEU離脱派が勝利し市場のリスク回避姿勢が強まったことも、金利低下の材料となりました。

○為替相場

先進国為替相場は、期を通しておおむね下落(円高)しました。期首より2016年3月にかけては、日銀が予想外のマイナス金利を導入したことで円が乱高下したほか、原油価格が底打ちの様相となって豪ドルやカナダ・ドルといった資源国通貨が買い戻されました。4月以降は、日銀の主要な金融政策において追加緩和が見送られたことや米国の早期利上げ観測の後退などから、円高傾向での推移となりました。また、英国のEU離脱への懸念から市場のリスク回避姿勢が強まったことも、円高の材料となりました。しかし、7月の参議院選挙での与党の勝利を受けて経済対策への期待が高まる中で、円安が進みました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、基本通貨配分(豪ドル50%、米ドル16.67%、カナダ・ドル16.67%、英ポンド16.67%)に基づき、各国の金利動向、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±16.67%程度の範囲内で変動させました。

当期の債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の政策金利の見通しや金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

先進国セレクト債券マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	32 (30)
(その他)	(2)
合 計	32

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2016年1月21日から2016年7月20日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 17 (—)
	カナダ	千カナダ・ドル —	千カナダ・ドル 26 (—)
国	オーストラリア	千オーストラリア・ドル —	千オーストラリア・ドル 43 (—)
	イギリス	千イギリス・ポンド —	千イギリス・ポンド 11 (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年1月21日から2016年7月20日まで)

当 期			
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ) 6.25% 2019/12/4	3,576
		ONTARIO PROVINCE (カナダ) 4.2% 2020/6/2	2,323
		United Kingdom Gilt (イギリス) 8.75% 2017/8/25	1,968
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.75% 2023/5/15	1,926

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 85	千アメリカ・ドル 90	千円 9,552	% 15.5	% —	% 11.5	% 2.3	% 1.7
カナダ	千カナダ・ドル 110	千カナダ・ドル 121	9,849	16.0	—	13.8	2.2	—
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 350	千オーストラリア・ドル 408	32,464	52.7	—	3.2	49.5	—
イギリス	千イギリス・ポンド 57	千イギリス・ポンド 63	8,755	14.2	—	8.0	—	6.2
合 計	—	—	60,621	98.4	—	36.5	54.0	7.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千円		
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	0.7500	千アメリカ・ドル 10	千アメリカ・ドル 10	1,061	2017/12/31
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	63	64	6,851	2023/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	8.7500	10	13	1,388	2020/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.1250	2	2	250	2044/08/15
	通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		85	90	9,552
カナダ	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	4.2000	千カナダ・ドル 15	千カナダ・ドル 16	1,362	2020/06/02
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.1500	95	104	8,486	2022/06/02
	通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄	110	121	9,849	
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.5000	千オーストラリア・ドル 20	千オーストラリア・ドル 24	1,968	2023/04/21
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	6.2500	30	34	2,710	2019/12/04
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.0000	100	114	9,078	2020/08/06
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.2500	200	235	18,707	2021/06/08
	通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		350	408	32,464
イギリス	United Kingdom Gilt	国債証券	8.7500	千イギリス・ポンド 25	千イギリス・ポンド 27	3,803	2017/08/25
	United Kingdom Gilt	国債証券	2.2500	32	35	4,952	2023/09/07
通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄		57	63	8,755	
合 計	銘柄数 金 額	12銘柄				60,621	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

先進国セレクト債券マザーファンド

■投資信託財産の構成

2016年7月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	60,621	98.4
コール・ローン等、その他	986	1.6
投資信託財産総額	61,608	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=106.03円、1カナダ・ドル=81.38円、1オーストラリア・ドル=79.51円、1イギリス・ポンド=138.85円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(61,316千円)の投資信託財産総額(61,608千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年7月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	61,608,682円
コール・ローン等	355,236
公社債(評価額)	60,621,843
未収利息	631,603
(B) 負債	10,800
その他未払費用	10,800
(C) 純資産総額(A-B)	61,597,882
元本	42,820,393
次期繰越損益金	18,777,489
(D) 受益権総口数	42,820,393口
1万口当り基準価額(C/D)	14,385円

*期首における元本額は50,914,880円、当期中における追加設定元本額は65,652円、同解約元本額は8,160,139円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、世界セレクト債券ファンド(毎月決算型)42,820,393円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は14,385円です。

■損益の状況

当期 自2016年1月21日 至2016年7月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,355,191円
受取利息	1,355,228
支払利息	△ 37
(B) 有価証券売買損益	△ 2,705,110
売買益	1,050,836
売買損	△ 3,755,946
(C) その他費用	△ 143,776
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,493,695
(E) 前期繰越損益金	24,276,697
(F) 解約差損益金	△ 4,039,861
(G) 追加信託差損益金	34,348
(H) 合計(D+E+F+G)	18,777,489
次期繰越損益金(H)	18,777,489

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

新興国セレクト債券マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2016年7月20日)

(計算期間 2016年1月21日～2016年7月20日)

新興国セレクト債券マザーファンドの第14期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	新興国通貨建ての債券
運用方法	<p>①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p>イ. 投資対象通貨および基本通貨配分は、各通貨建ての債券の金利水準、信用力、市場規模、流動性等を勘案して決定します。 ※投資対象通貨および基本通貨配分は、投資環境等が著しく変化した場合に変更することがあります。</p> <p>ロ. 基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して、実際の運用における通貨別投資比率を決定します。</p> <p>ハ. 投資対象とする債券は、各国*の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証するものとします。 ※新興国に限るものではありません。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイフ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

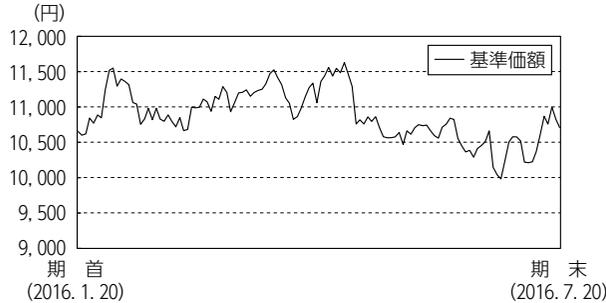
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

新興国セレクト債券マザーファンド

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準価額		JPMorgan GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入 比率
	円	%	(参考指数)	%	
(期首) 2016年1月20日	10,657	—	12,802	—	89.1
1月末	11,250	5.6	13,413	4.8	93.0
2月末	10,667	0.1	12,893	0.7	91.2
3月末	11,471	7.6	13,906	8.6	96.1
4月末	11,470	7.6	13,761	7.5	97.1
5月末	10,736	0.7	13,367	4.4	96.4
6月末	10,505	△ 1.4	13,073	2.1	93.2
(期末) 2016年7月20日	10,709	0.5	13,532	5.7	92.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J P Morgan GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J P Morgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼン・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P Morgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼン・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,657円 期末：10,709円 騰落率：0.5%

【基準価額の主な変動要因】

為替相場が円に対しておおむね下落したことがマイナス要因になりましたが、投資している債券の利息収入や債券価格の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国債券市況は、期を通してみるとおおむね金利低下となりました。米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方に加え、中国経済に対する懸念の後退や商品価格の反発、世界的な株式市況の上昇から投資家心理が改善する中で、多くの新興国債券が買われる展開となりました。

○為替相場

新興国為替相場は、期を通してみるとおおむね対円で下落となりました。米国の利上げ懸念や中国経済に対する懸念が後退する中で新興国通貨は買われる動きがあったものの、日銀の金融政策をめぐる思惑等によって円高が進展したことから、投資対象通貨は南アメリカ・ランドを除き、対円でおおむね下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、ファンドの特色に定めておりますように、各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で通貨を選定します。期中に信用力を考慮し、投資対象通貨および基本通貨配分の一部変更を行ないました。新たな基本通貨配分 (メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±25%程度の範囲内で変動させました。

当期の債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債にて運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	44 (42)
(その他)	(3)
合 計	44

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2016年1月21日から2016年7月20日まで)

			買 付 額	売 付 額
			千トルコ・リラ	千トルコ・リラ
外	トルコ	国債証券	69	92 (70)
		特殊債券	67	— (—)
国	メキシコ	国債証券	千メキシコ・ペソ 2,620	千メキシコ・ペソ — (—)
		国債証券	千ブラジル・リアル —	千ブラジル・リアル 783 (—)
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカ・ランド 400	千南アフリカ・ランド 266 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年1月21日から2016年7月20日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄		銘 柄	
	千円		千円
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2017/12/14	5,937	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/7/1	8,265
Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2024/12/5	5,178	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2021/1/1	6,549
Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2018/12/13	2,723	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2025/1/1	4,198
Turkey Government Bond (トルコ) 8.2% 2016/7/13	2,643	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2017/1/1	2,062
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2042/11/13	2,457	Turkey Government Bond (トルコ) 9% 2024/7/24	1,572
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 13.625% 2017/5/9	2,349	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2017/7/1	1,182
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.75% 2048/2/28	2,124	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 10.5% 2026/12/21	1,127
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 10.5% 2026/12/21	689	Turkey Government Bond (トルコ) 9% 2016/1/27	1,016
		Turkey Government Bond (トルコ) 10.5% 2020/1/15	919
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 7.25% 2020/1/15	732

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

新興国セレクト債券マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
トルコ	千トルコ・リラ 325	千トルコ・リラ 324	千円 11,302	% 27.5	% —	% 13.6	% 5.8	% 8.2
メキシコ	千メキシコ・ペソ 2,300	千メキシコ・ペソ 2,603	14,867	36.2	—	17.2	6.0	13.0
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 1,671	千南アフリカ・ランド 1,601	11,833	28.8	—	22.2	0.9	5.7
合 計	—	—	38,003	92.5	—	52.9	12.6	27.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千円		
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	10.5000	千トルコ・リラ 65	千トルコ・リラ 67	2,364	2020/01/15
	Turkey Government Bond	国債証券	6.3000	30	29	1,010	2018/02/14
	Turkey Government Bond	国債証券	8.8000	120	116	4,040	2023/09/27
	Turkey Government Bond	国債証券	9.0000	45	44	1,531	2024/07/24
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	13.6250	65	67	2,355	2017/05/09
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		325	324	11,302	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	千メキシコ・ペソ 650	千メキシコ・ペソ 826	4,720	2024/12/05
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	900	938	5,356	2017/12/14
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	400	430	2,457	2018/12/13
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	350	408	2,332	2042/11/13
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		2,300	2,603	14,867	
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.2500	千南アフリカ・ランド 200	千南アフリカ・ランド 200	1,485	2017/09/15
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	50	49	369	2018/12/21
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	150	167	1,234	2026/12/21
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.0000	130	107	790	2031/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.7500	385	369	2,730	2023/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	640	589	4,353	2048/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	13.5000	116	117	869	2016/09/15
通貨小計	銘柄数 金 額	7銘柄		1,671	1,601	11,833	
合 計	銘柄数 金 額	16銘柄				38,003	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年7月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	38,003 千円	87.5 %
コール・ローン等、その他	5,423	12.5
投資信託財産総額	43,427	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月20日における邦貨換算レートは、1トルコ・リラ=34.80円、1メキシコ・ペソ=5.71円、1南アフリカ・ランド=7.39円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(39,053千円)の投資信託財産総額(43,427千円)に対する比率は、89.9%です。

■損益の状況

当期 自2016年1月21日 至2016年7月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,792,653円
受取利息	1,792,739
支払利息	△ 86
(B) 有価証券売買損益	△ 1,214,369
売買益	2,434,259
売買損	△ 3,648,628
(C) その他費用	△ 183,152
(D) 当期損益金 (A + B + C)	395,132
(E) 前期繰越損益金	△ 3,092,553
(F) 解約差損益金	△ 769,340
(G) 合計 (D + E + F)	2,718,345
次期繰越損益金 (G)	2,718,345

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年7月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	44,791,473円
コール・ローン等	4,631,824
公社債 (評価額)	38,003,730
未収入金	1,365,600
未取利息	789,929
前払費用	390
(B) 負債	3,724,887
未払金	3,714,087
その他未払費用	10,800
(C) 純資産総額 (A - B)	41,066,586
元本	38,348,241
次期繰越損益金	2,718,345
(D) 受益権総口数	38,348,241口
1万口当り基準価額 (C / D)	10,709円

* 期首における元本額は47,078,901円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は8,730,660円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、世界セレクト債券ファンド(毎月決算型) 38,348,241円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,709円です。